

安全配慮・調整機能 施工・調整について詳しくはP.258をご参照

安全性への配慮と施工性の向上を果たす多くの機構を設けました。

■ドアを吊り込んだまま建付調整できる、たて枠付ピボットヒンジ。 ■調節範囲 左右方向:±3mm、室内外方向:±3mm、高さ方向:+1.5mmまたは+3mm

高級感があり、ドアのデザイン性を高めると同時に、施工性に優れたピボットヒンジを採用。3方向建付調整が、ドアを吊り込んだ状態で行えます。

上部 下部

■ラッチ受、鎌錠受の調整

鎌錠、ラッチボルトがかかりにくいときは、錠受取付ネジをゆるめ、錠受をスライドして調整してください。

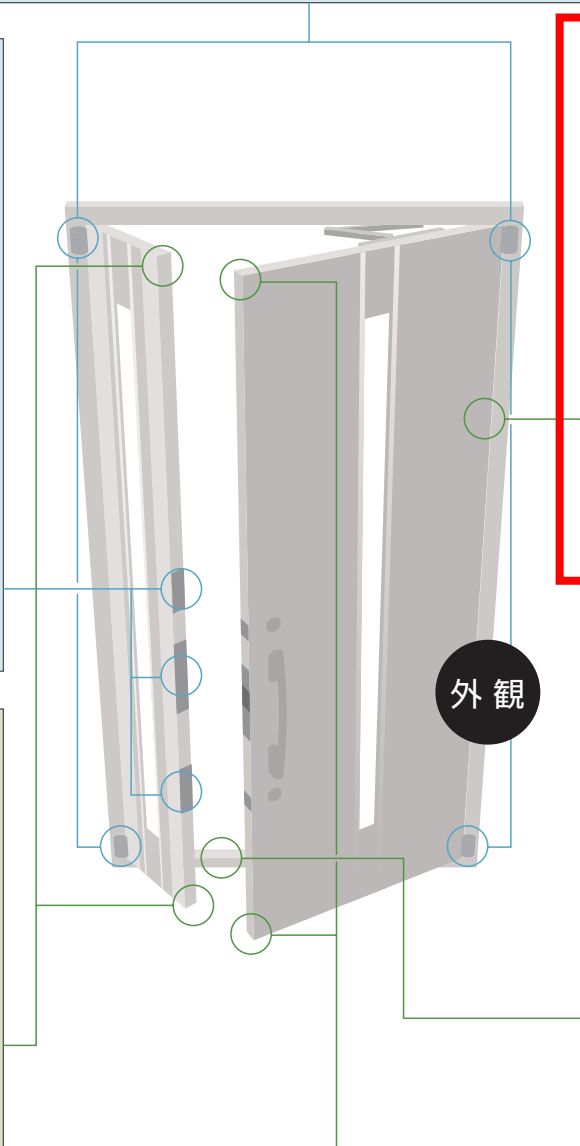
■調整範囲 室外側へ3mm 室内側へ1mm

■子扉のガタツキ防止機構

子扉にはガタツキ防止機構を備えたフランス落しを採用しています。

子扉 施錠時 ロッド棒 ロッド棒ガイド

フランス落しを施錠するとロッドのフレがなくなり、子扉がガタつきません。



■指はさみ防止機構

万が一指をはさんでもケガをしにくい機構を採用。衝撃を吸収させるため緩衝材を枠側・扉側の両方に使用しています。

15mm 緩衝材 扉 60mm 13mm 枠

■安全性に優れた下枠形状

沓摺部には、安全への配慮からスリップしにくいゴム素材を採用。水切部にはステンレスカバーを装備し、スリ傷対策も万全です。また、たて枠付ピボットヒンジの採用で段差を20mmに抑え、バリアフリーにも対応。ピボットヒンジが施工で埋もれてしまうこともありません。

20mm

※品確法の基準に準じる際は、図の様に沓摺部と同面に仕上げてください。

■安全キャップ

安全キャップの採用。たて枠小口キャップを採用。ドア四方の小口に取付け、安全性に配慮しています。